



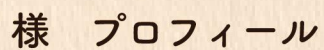
滋賀県医療と介護をつなぐ看取り介護推進事業



看取りの見える化シート



ワークシート ver.



※主人公としてのストーリーを書きます

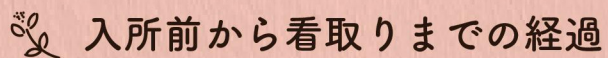
年齡・性別

歳 男性・女性

家族構成

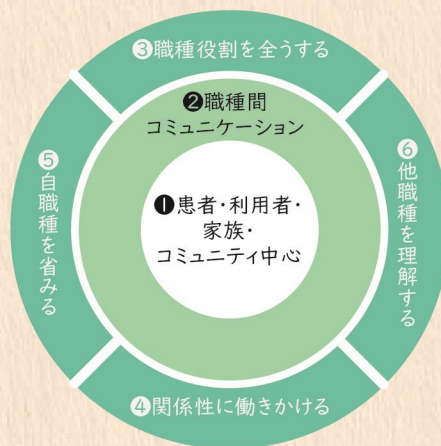
主な疾患

主な介護者



※出会う前のこと、出会ってからのエピソード、看取りのことを書きます

多職種連携コンピテンシーモデル



*コンピテンシーとは、
専門職業人として業務を行う能力。

① 患者・利用者・家族・コミュニティ中心

患者・利用者・家族・コミュニティのために、共同する職種で患者や利用者、家族、地域にとっての重要な関心事/課題に焦点を当て、共通の目標を設定することができる。

② 職種間コミュニケーション

患者・サービス利用者・家族・コミュニティのために、職種背景が異なることに配慮し、互いに、互いについて、互いから職種としての役割、知識、意見、価値観を伝え合うことができる。

③ 職種としての役割を全うする

互いの役割を理解し、互いの知識・技術を活かしあい、職種としての役割を全うする。

④ 関係性に働きかける

複数の職種の関係性の構築・維持・成長を支援・調整することができる。また、時に生じる職種間の葛藤に、適切に対応することができる。

⑤ 自職種を省みる

自職種の思考、行為、感情、価値観を振り返り、複数の職種との連携協働の経験により深く理解し、連携協働に活かすことができる。

⑥ 他職種を理解する

他の職種の思考、行為、感情、価値観を理解し、連携協働に活かすことができる。

多職種連携コンピテンシー開発チーム「医療福祉分野の多職種連携コンピテンシー」2016.3.31

職種としての役割（例）

ケアマネジャー



医療者と心身情報を正しく共有したうえで、専門職中心のケアにならないよう本人・家族の意向が主となるよう支援。

看護職



本人に残された限られた時間を、より苦痛なく過ごせるよう支援。

介護職



生活場面で、日常の小さな変化を見逃さず気づくことができる。

栄養士



利用者の状態と嗜好に応じた食事の提供。

理学療法士・作業療法士

本人の希望を尊重しながら、前向きに生活する力を支える理学・作業療法の提供。

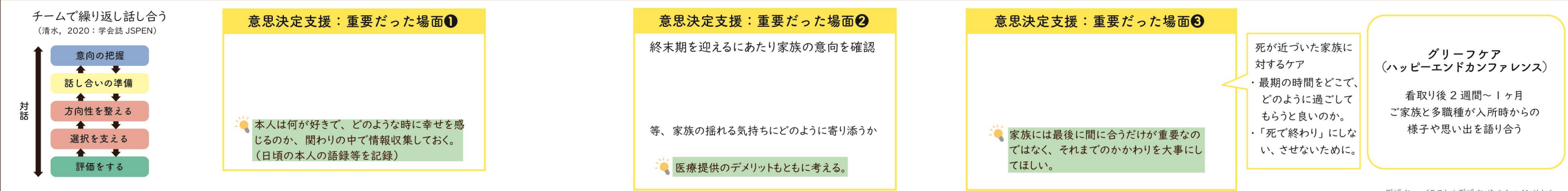
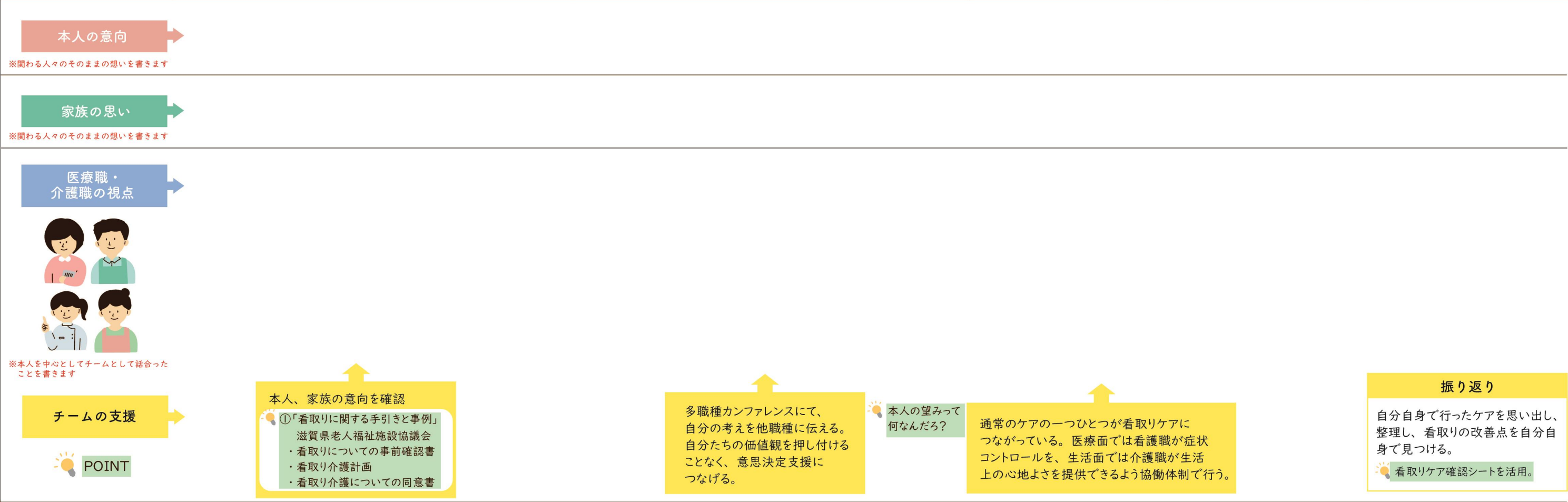
歯科医師、歯科衛生士

口腔ケア方法を指導、食事が楽しく食べられるよう援助。

医師

治療やケアについて十分説明し、本人・家族の意思を確認。

	これまでの暮らし	入所時から安定期	急性増悪期	看取りケア	数日から数時間	お別れ直前	看取り後
		(歳)	※疾患名など			で亡くなる(歳)	
病状・生活 の変化 ※ご本人の様子を書きます							
身体の変化 注：病気などの種類によって身体の機能の衰え方は異なる。BMI の減少の仕方は、誰もが同じ経過をとるとも言えない。死期を予測できるようになるには、さらに多くのデータが必要といわれている。		BMI はゆるやかに減少。	体重や体格の変化。	飲食が減少する。	呼吸のリズムが変化する。	反応がほぼなくなる。	参考資料 ・緩和ケア普及のための地域プロジェクト「これからの過ごし方について」 ・東京医療有明大学雑誌 Vol. 6 13-19、2014 「BMI の推移を根拠とした高齢者の看取り時期および死期の推定」 川上嘉明 前田樹海



看取りの見える化シートの活用方法

- ✓ 所属施設において看取りに取り組む時、看取り期の時期（プロセス）の事例を参考にする。
- ✓ 施設における看取り事例の振り返りを行う時、グリーフワークを行う時。

看取りの見える化シートの思い

人生最後の看取り期に本人の意向に寄り添い、家族と多職種がチームでコミュニケーションを取り、そのプロセスに合わせた支援ができるツールとして制作されました。

看取りに関する参考資料

平成 27 年度滋賀県委託事業
「看取りに関する手引きと事例」
滋賀県老人福祉施設協議会ホームページ



「看取りケア確認シート」
東京都健康長寿医療センター

